

# デリバティブ取引

## デリバティブ取引関係（平成18年9月期）

1.取引の内容	当行は、金利関連では、金利スワップ取引・金利キャップ取引・金利スワップション取引、通貨関連では、通貨スワップ取引・先物外国為替取引・通貨オプション取引、商品関連では、商品スワップ取引を利用しております。
2.取引に対する取組方針	当行は、お客さまの金利や為替等に係るリスクヘッジニーズに対応するため、また、当行自身の市場リスクを適切に管理するため、デリバティブ取引を利用しております。取引にあたっては、市場リスクを最小限に抑えることを基本方針にしております。
3.取引の利用目的	当行は、金利スワップ取引・金利キャップ取引・金利スワップション取引につきましては、金利変動リスクをヘッジする目的で利用しております。 通貨スワップ取引・先物外国為替取引・通貨オプション取引につきましては、為替変動リスクをヘッジする目的で利用しております。 商品スワップ取引につきましては、商品価格の変動リスクをヘッジする目的で利用しております。
4.取引に係るリスクの内容	デリバティブ取引は、市場リスク及び信用リスク等を有しています。 市場リスクとは、金利・為替相場等の市場要因が不利な方向に変動することにより市場価値が値下がりするリスクをいい、信用リスクとは、取引の相手方の倒産等により当初の契約どおりに取引を履行できなくなるリスクをいいます。 市場リスクについては、対顧客取引にあわせてカバー取引を行い、リスクを最小限に抑えています。 信用リスクについては、取引相手先毎に限度額を設定し、リスクの集中を回避しています。
5.取引に係るリスク管理体制	取引の実行及び管理は市場金融部が行っており、リスク量を日次で担当役員とリスク管理の統括部である総合企画部に報告する体制をとり、リスク管理については万全を期しております。
6.定量的情報の補足説明	契約額等は、この金額自体がデリバティブ取引に係る市場リスク量または信用リスク量を示すものではありません。

## デリバティブ取引情報

### 1.金利関連取引

(単位:百万円)

区分	種類	平成17年9月期(平成17年9月30日現在)				平成18年9月期(平成18年9月30日現在)			
		契約額等	契約額等のうち1年超のもの	時価	評価損益	契約額等	契約額等のうち1年超のもの	時価	評価損益
取引所 店頭	金利先物	-	-	-	-	-	-	-	-
	金利オプション	-	-	-	-	-	-	-	-
	金利先渡契約	-	-	-	-	-	-	-	-
	金利スワップ								
	受取固定・支払変動	44,919	44,919	366	366	120,857	116,659	1,315	1,315
	受取変動・支払固定	44,947	44,147	180	180	121,054	115,764	1,832	1,832
	受取変動・支払変動	2,300	2,300	65	65	2,300	2,300	57	57
	金利オプション 売建	3,200	3,200	9	9	6,070	5,620	41	41
	買建	2,530	2,530	108	108	5,200	5,100	112	112
	その他 売建	7,881	7,881	120	120	76,556	76,556	1,774	1,774
	買建	7,881	7,881	11	11	76,544	76,544	136	136
	合計			731	731			2,524	2,524

(注) 1.上記取引については時価評価を行い、評価損益を中間損益計算書に計上しております。

なお、「銀行業における金融商品会計基準適用に関する会計上及び監査上の取扱い」(日本公認会計士協会業種別監査委員会報告第24号)等に基づき、ヘッジ会計を適用しているデリバティブ取引は、上記記載から除いております。

### 2.通貨関連取引

区分	種類	平成17年9月期(平成17年9月30日現在)				平成18年9月期(平成18年9月30日現在)			
		契約額等	契約額等のうち1年超のもの	時価	評価損益	契約額等	契約額等のうち1年超のもの	時価	評価損益
取引所 店頭	通貨先物	-	-	-	-	-	-	-	-
	通貨オプション	-	-	-	-	-	-	-	-
	通貨スワップ	17,342	17,342	125	125	41,209	39,882	273	273
	為替予約 売建	402	-	2	2	213	-	4	4
	買建	4,332	-	6	6	7,484	-	60	60
	通貨オプション 売建	3,752	-	5	5	1,285	-	2	2
	買建	3,752	-	3	3	1,285	-	1	1
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-
	合計			123	123			217	217

(注) 1.上記取引については時価評価を行い、評価損益を中間損益計算書に計上しております。

なお、「銀行業における外貨建取引等の会計処理に関する会計上及び監査上の取扱い」(日本公認会計士協会業種別監査委員会報告第25号)等に基づき、ヘッジ会計を適用している通貨スワップ取引等については、上記記載から除いております。

3.株式関連取引——平成17年9月期、平成18年9月期とも該当ありません。

4.債券関連取引——平成17年9月期、平成18年9月期とも該当ありません。

## 5. 商品関連取引

(単位:百万円)

区分	種類	平成17年9月期(平成17年9月30日現在)				平成18年9月期(平成18年9月30日現在)			
		契約額等	契約額等のうち 1年超のもの	時価	評価損益	契約額等	契約額等のうち 1年超のもの	時価	評価損益
取引所	商品先物	売建	-	-	-	-	-	-	-
		買建	-	-	-	-	-	-	-
店頭	商品スワップ		-	-	-	-	-	-	-
	商品先渡	売建	-	-	-	-	-	-	-
		買建	-	-	-	-	-	-	-
	商品スワップ		-	-	-	-	-	-	-
		受取固定・支払変動	-	-	-	-	287	16	16
		受取変動・支払固定	-	-	-	-	268	1	1
	商品オプション	売建	-	-	-	-	-	-	-
		買建	-	-	-	-	-	-	-
合計							17	17	

(注) 1. 上記取引については時価評価を行い、評価損益を中間損益計算書に計上しております。  
 なお、ヘッジ会計が適用されているデリバティブ取引は、上記記載から除いております。  
 2. 商品は石油に係るものであります。

## 6. クレジットデリバティブ取引 — 平成17年9月期、平成18年9月期とも該当ありません。

# オフバランス取引

### オフバランス取引情報

#### 1. 金融派生商品及び先物外国為替取引

(単位:百万円)

種類	契約金額・想定元本額		与信相当額		内容
	平成17年9月期 (平成17年9月30日現在)	平成18年9月期 (平成18年9月30日現在)	平成17年9月期 (平成17年9月30日現在)	平成18年9月期 (平成18年9月30日現在)	
金利及び通貨スワップ	140,710	325,251	3,387	8,172	将来の一定期間にわたって、予め決められた金融指標を基準に、キャッシュ・フロー(元本、金利等)を交換する取引
先物外国為替取引	4,028	7,404	46	132	将来の受渡日に、約定為替相場で異種通貨の交換を行うことを約束する取引
金利及び通貨オプション	6,298	6,485	199	228	将来の特定日または特定期間中に、予め定めた利回りあるいは価格で、金利や通貨を購入または売却する権利を売買する取引
金利スワップション	7,881	76,548	92	963	将来のある時点において、一定期間にわたって、予め決められた金融指標を基準に、金利を交換する権利を売買する取引
商品スワップ	-	555	-	85	将来の一定期間にわたって、予め決められた商品指標を基準に、キャッシュ・フローを交換する取引
合計	158,919	416,245	3,725	9,582	

(注) 1. 上記計数は自己資本比率(国内基準)に基づいております。与信相当額(取引相手方が契約不履行に陥った場合に被る可能性のある損失額)の算出に当たっては、カレント・エクスポージャー方式を採用しております。  
 2. なお、自己資本比率の対象となっていない取引所取引、原契約期間が14日以内の外国為替関連取引等の契約金額・想定元本額は次のとおりです。

(単位:百万円)

種類	契約金額・想定元本額	
	平成17年9月期 (平成17年9月30日現在)	平成18年9月期 (平成18年9月30日現在)
金利及び通貨スワップ	-	-
先物外国為替取引	726	386
金利及び通貨オプション	-	-
その他の金融派生商品	-	-
合計	726	386

#### 2. 与信関連取引

(単位:百万円)

種類	契約金額		内容
	平成17年9月期 (平成17年9月30日現在)	平成18年9月期 (平成18年9月30日現在)	
コミットメント	235,371	230,700	貸越契約の枠空き等
保証取引	9,625	10,431	支払承諾等
その他	-	-	-
合計	244,997	241,131	